

# DIAGNOdent PEN

## Quick Guide

### ダイアグノデントペン クイックガイド

#### 各部位の説明

##### ①リングカフ

測定時のPEAK値を“0”に戻します。

##### ②電源ON/OFFボタン

電源ON/OFF以外に測定時のPEAK値を“00”に戻すことも可能です。

##### ③スタート/設定ボタン

##### ④マイナスボタン

##### ⑤プラスボタン

##### ⑥メニューボタン

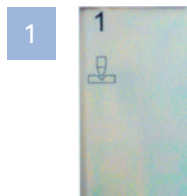
- ・1回:キャリブレーション
- ・2回:プローブメモリ
- ・3回:音量設定
- ・4回:赤外線通信設定
- ・5回:基準値設定


##### ⑦液晶ディスプレイ

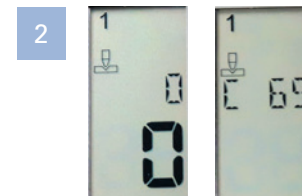



#### キャリブレーション方法

(正しい値になるよう調整)



メニューボタンを1回押し、キャリブレーションモードにします。  
※ディスプレイに  が表示されます。



ディスプレイに  が点灯している間にスタート/設定ボタンを押します。表示欄に「0」が表示された後にスタンダードと同じ数値の表示と共に“ピー”と音が鳴ります。



音が鳴っている間に、プローブ先端をスタンダードCに垂直にあてます。  
※隣接面用プローブをキャリブレーションするにはプローブガードをはめた状態でおこないます。



PEAK値にスタンダードCと同じ数値が表示されたらキャリブレーションが終了です。



測定に入る場合は、リングカフまたは電源ON/OFFボタンを押し、PEAK値を“00”にします。

## 日常の使用手順

(プローブ等のセット → 数値の確認 → 口腔内の測定)

### 1 プローブ等のセット



滅菌済みのグリップスリーブ・プローブを準備します。



グリップスリーブを本体にセットし、測定部位に合わせプローブを選択し、ダイヤグノデントペンにセットします。



### 2 数値の確認(測定数値にズレがないか確認)



電源をONにし、メニューボタンを2回押し、プローブメモリメニューを表示します。プラス・マイナスボタンでプローブに合わせたプローブメモリメニューに設定します。(例 1:裂溝用、2:隣接面用、3:ペリオ用)



プローブをスタンダードCの中央部(くぼみ)に垂直にあて数値の確認をします。スタンダードCに記載されている数値と表示されている数値差が±3以内であればそのまま測定します。±3を超える差がある場合は、キャリブレーションを行ってください。

※隣接面用プローブはブローガイドを付けた状態で行います。



数値の確認が完了したらリングカフまたは電源ON/OFFボタンを押し、PEAK値が“00”になったことを確認します。

### 3 口腔内の測定



測定する部位にあて、測定をおこないます。

●仕様および外観は、製品改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。●ご使用に際しましては、製品の取扱説明書を必ずお読みください。  
販売名 ダイアグノデントペン 2190 一般的名称 光学式う蝕検出装置 医療機器認証番号 221008ZX01002000 医療機器の分類 管理医療機器(クラスII)  
製造販売 カボデンタルシステムズジャパン株式会社 大阪府八尾市神武町2-24  
発売 株式会社 モリタ 大阪本社:大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 T 06-6380 2525 東京本社:東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03-3834 6161  
お問合せ お客様相談センター <歯科医療従事者様専用> T 0800.222 8020 (フリーコール)  
www.dental-plaza.com